

報道関係者 各位

平成 25 年 1 月 28 日

【照会先】

社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室

室 長 佐々木裕介（内線 2846）

主 査 尾川 春香（内線 2844）

（代表電話）03-5253-1111

（直通電話）03-3595-2617

第 25 回介護福祉士国家試験で

経済連携協定（EPA）介護福祉士候補者に配慮した改善をしました

厚生労働省では、昨日（平成 25 年 1 月 27 日）、第 25 回介護福祉士国家試験（筆記試験）を実施しました。試験の実施に当たっては、経済連携協定（EPA）に基づく外国人の介護福祉士候補者に配慮し、全ての漢字に振り仮名を付けたり、設問の日本語をより分かりやすく見直したほか、試験時間を一般受験者の 1.5 倍とするなどの改善を図りました。

厚生労働省では、2 国間の経済連携強化や友好という EPA の趣旨から、日本語を母国語としない候補者が日本語のハンディキャップを補い、一人でも多く試験に合格できるよう、検討会で改善策を検討していました。今回の対応は、昨年 6 月にまとまった報告に基づくもので、疾病名への英語併記や、英語を原語とするカタカナ語の英語併記などをとりあげると、全 120 問中、240 カ所について見直しました。（資料 1 参照）

主な改善内容は、以下の通りです。

なお、第 25 回試験の受験者総数は 136,377 名、うち EPA 候補者は 322 名でした。（資料 2 参照）

<今年度・第 25 回試験で実施した改善策>

1. 全ての漢字に振り仮名を付けた問題用紙を配布
一般受験者用の問題用紙も配布し、選択できるよう配慮
2. わかりやすい日本語への改善
 - ・ 設問の指示形式を全て肯定表現に統一
（「適切でないものはどれか」などの否定表現は用いない）
 - ・ 難しい漢字への配慮
（常用漢字でない漢字が含まれる熟語には、熟語単位で振り仮名を付記等）
 - ・ 英語を原語とする一部のカタカナ語に、英語を併記
 - ・ 年号は西暦と元号を併記
 - ・ 化学物質名に元素記号を併記
 - ・ 専門用語でも、通称で現場に定着しているものは、その通称を併記

その他、文章を短く区切る、できるだけ一般的な表現に見直すなどの改善を実施。

3. 試験時間を一般受験者の 1.5 倍に延長（一般受験者 210 分、EPA 候補者 315 分）

<前回までの改善策>

平成 22 年度（第 23 回試験）から実施

- ・ 疾病名に英語を併記
- ・ 外国人名に原語を併記
- ・ 英字略語に正式名称を併記

平成 23 年度（第 24 回試験）から実施

試験会場を 1 試験地につき 1 会場に集め、一般の受験者とは別室で受験

（参考）EPA 候補者の初回の受験となった平成 23 年度（第 24 回試験）の合格率は 37.9%（一般受験者 63.9%）

<改善例>

概要は以下の通りです。

<今年度・第25回試験で実施した改善策>

- 常用漢字でない漢字と、常用漢字であっても個々に必要と判断される漢字について、熟語単位で振り仮名を付記

例) 排泄^{はいせつ} 高齢者虐待^{こうれいしやぎやくたい} 麻痺^{まひ} 徘徊^{はいかい} 大腿二頭筋^{だいたいにとうきん} 全101箇所

- 英語を原語とする一部のカタカナ語に英語を併記

例) グリーフケア (grief care) アセスメント (assessment)
ノロウイルス (Norovirus) モニタリング (monitoring) 全23箇所

- 年号は西暦と元号を併記

例) 2006年 (平成18年) 全11箇所

- 化学物質名に元素記号を併記

例) カルシウム (Ca) 全1箇所

- 専門用語でも、通称で現場に定着しているものは、その通称を併記

例) 訪問介護員 (ホームヘルパー) 通所介護 (デイサービス)
介護支援専門員 (ケアマネジャー) 全17箇所

<前回までの改善策>

- 疾病名に英語を併記

例) アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer' s type)
脳梗塞 (cerebral infarction) 糖尿病 (diabetes mellitus)
アスペルガー症候群 (Asperger' s syndrome) 全82箇所

- 外国人名に原語を併記

例) ハヴィガースト (Havighurst, R.) ライチャード (Reichard, S.) 全2箇所

- 英字略語に正式名称を併記

例) ADL (Activities of Daily Living : 日常生活動作) 全3箇所

上記の他、設問の指示形式を全て肯定表現に統一する、文章を短く区切る、構文を単純化する、主語・述語・目的語を明示する、句読点の付け方を工夫する、難しい表現はできるだけ易しい表現へ見直すなど、日本語として分かりやすい表現となるよう対応しました。

別添

資料1 経済連携協定 (EPA) 介護福祉士候補者に配慮した国家試験のあり方に関する
検討会報告 (平成24年6月5日公表資料)

資料2 介護福祉士国家試験の概要について